

2020年11月27日

『国民の声』を聴く会 資料

# 多文化ソーシャルワークに関する取組

公益社団法人 日本社会福祉士会

# 多文化ソーシャルワークに関する取組

1. 研修プログラムの開発・実施
2. アセスメントシートの開発
3. 調査研究、書籍、ガイドブックの発行

# 1. 研修プログラムの開発・実施

○滞日外国人ソーシャルワーク研修  
(2006～2015年度)

※ 2013年度に、認定社会福祉士制度の  
認証研修として位置づけられました。



都道府県士会に移管  
(2015年度)

○現在は、神奈川県士会、兵庫県士会で開催

# 1. 研修プログラムの開発・実施

## 2015年度 滞日外国人ソーシャルワーク研修

※本会主催の本研修は、今年度で終了します。是非、この機会にご受講ください※

### 研修のねらい

複雑な生活課題を抱えながら地域で暮らす滞日外国人の方々に対して、ソーシャルワーカーはどのような支援ができるのか本研修では多文化共生をキーワードに滞日外国人支援の視点とあり方を学び、滞日外国人の生活課題を理解し、潜在的ニーズを把握し、支援計画を立てるソーシャルワーク実践力を身につけることを目指します。

1. 日時 2016年1月30日(土) 10:00 ~ 1月31日(日) 16:30
2. 会場 昭和女子大学(〒154-8533 東京都世田谷区太子堂1-7-57 東急田園都市線「三軒茶屋駅」より徒歩7分)
3. プログラム(予定)

◆1月30日(土) 受付開始9:30、終了17:45

10:00~10:10	オリエンテーション
10:10~11:10	講義①「現代日本における多文化ソーシャルワークの必要性」 講師：森 恭子 氏 (法政大学)
	休憩 (10分)
11:20~12:30	講義②「在留資格の基礎知識」 講師：原口 美佐代 氏 (公財) アジア福祉総合財団 福祉事業本部国際交流部 総務部長兼課長
12:30~13:00	昼食・休憩 (60分)
13:30~15:20	講義③「外国人に適用される社会保険、福祉サービスの現状」 講師：南野 奈津子 氏 (昭和女子大学)
	休憩 (10分)
15:30~16:30	講義④「多文化ソーシャルワークと共生社会の実現」 講師：榎木 典子 (財) 法人多文化共生センター(東京) 代表理事
	休憩 (10分)
16:40~17:40	講義⑤「滞日外国人・難民とソーシャルワーク実践—アセスメントシートの活用—」 講師：富田 明裕 氏 (健康福祉センター)
17:40~17:45	事務連絡
17:45	1日目終了

◆1月31日(日) 受付開始9:15、終了16:30

9:30~12:00	【演習】(1)~(4)のテーマ別に、事例を通して、福祉的支援のあり方について検討します。 (1)医療分科 (医療分野における滞日外国人支援) コーディネーター：森 恭子 氏、斉藤 有香 氏 (2)婦人保健分科 (外国人DV被害者への支援) コーディネーター：坂間 治子 氏、平田 美智子 氏 (3)教育・児童分科 (外国人児童生徒等への対応、児童福祉の子ども支援) コーディネーター：南野 奈津子 氏、関本 崇広 氏 (4)高齢者分科 (外国人高齢者の課題と必要な支援) コーディネーター：富田 明裕 氏、大島 了 氏
12:00~13:00	昼食・休憩 (60分)
13:00~14:30	全体会 ・各分科会の報告 休憩 (10分)
14:40~16:30	講義⑥「多文化共生のコミュニティづくり」 講師：石川美穂子 (社) 日本国際社会事業団 専務局長、 難民認定者
16:30	2日目終了、閉会

※演習について  
演習はテーマ別に4つの教習に分かれて行います。受講申込書に第1希望、第2希望を必ず記入してください。分野ごとに受講人数に差があり、先着順となりますので、申込の状況によっては、分野のご希望できない場合があります。あらかじめご了承ください。

滞日外国人ソーシャルワーク研修 開催要項より抜粋。

2020年度現在は、都道府県社会福祉士会に移管して研修を実施。

2019年度 開催予告

## 滞日外国人 ソーシャルワーク研修

～孤立と排除を超えて「共生」～

日本に暮らす外国人は約238万3千人(平成28年度)、その内滞日外国人は平成29年10月末で、128万人。介護のニーズが急増が認められたことから、人手不足が深刻化する福祉現場で出入りが進むとの見方があります。複雑な生活課題を抱えながら地域で暮らす滞日外国人の方々に対して、ソーシャルワーカーはどのような支援ができるのか、本研修では滞日外国人支援の視点とあり方を学び、滞日外国人の生活課題の支援するソーシャルワーク実践力を身につけることを目指します。

**7月27日(土)**  
10:00~18:00

会場 兵庫県福祉センター

**内容(予定)**

- ◆ 現代社会における多文化ソーシャルワークの必要性
- ◆ 在留資格の基礎知識
- ◆ 外国人に適用される社会保険、福祉サービスの現状
- ◆ 多文化ソーシャルワークと共生社会の実現—滞日外国人と地域—の孤立と排除
- ◆ 滞日外国人・難民とソーシャルワーク実践—アセスメントシートの活用—

**7月28日(日)**  
9:30~16:30

**内容(予定)**

- ◆ 演習・テーマ別に、事例を通して福祉的支援のあり方を学ぶ
- ◆ 全体会(報告・質疑応答)・各分科会の報告
- ◆ 多文化共生のコミュニティづくり

**対象** 滞日外国人支援に関わっている方、もしくは関心のある方 60名  
**受講料** 会員：12,000円 一般：24,000円 (テキスト代金含む)  
 テキストは「滞日外国人支援の専門的知識」多文化ソーシャルワーク①(滞日外国人福祉)福祉士会編、非営利出版局より発行。受講料の中に、発行代金が含まれています。テキスト印刷費を別途申し込みにし、送料は別途、購入が必須です。

※その他研修後の研修は、受講者ホームページで案内させていただきます。  
 ※今回は(国分)・(兵庫)・(山口)・(北陸)・(徳島)・(福井)・(岐阜)・(愛知)・(三重)・(滋賀)・(京都)・(大阪)・(奈良)・(和歌山)・(鳥取)・(島根)・(岡山)・(広島)・(山口)・(徳島)・(高松)・(香川)・(愛媛)・(高知)・(福岡)・(佐賀)・(熊本)・(大分)・(宮崎)・(鹿児島)・(沖縄)の各都道府県社会福祉士会、15名以上の協賛・共催・後援が実施されています。団体は未定です。ご了承ください。

主 催 一般社団法人 福祉推進センター

# 社会福祉士資格取得後のキャリア形成と養成体系

## ■ 認定社会福祉士制度における実践力育成の3つの柱

- ① 実務経験目標...実務において経験すべき事項を明示。実務経験を標準化し、実践力を向上。
- ② スーパービジョン...定期的なSVを受け実践力を育成【認定】。SVを行い指導力・説明力を向上【認定上級】
- ③ 研修...養成課程では学んでいない専門的な知識等を習得【認定】  
実践課題に応じた知識習得・実践研究等を通じ、専門的知識の統合・運用を可能に【認定上級】

### 役割・活動

#### 【地域に広がる活動】

- 地域における権利擁護、機関間連携などのシステムづくり、制度の隙間にある課題に対応するサービスの開発
- 組織における苦情解決、サービス管理などの仕組みづくり
- 実践の指導、検証、根拠の蓄積

#### 【所属組織を中心とした活動】

- 複雑なケースへの対応
- 職種間連携のキーパーソン
- 相談援助部門のリーダー
- 職場配属

**多文化SWの研修は、  
地域社会・多文化分野  
に位置づけられている**

### スーパービジョン

### 実務経験目標

### 研修

認定上級社会福祉士として認定

・SVを行う

・所属組織でのサービス管理  
・地域での連携・ネットワーキング等の実践

・共通研修  
・特定領域の研究等

認定社会福祉士として認定

・SVを受ける

・個別支援を中心とした実践

・共通研修  
・分野別研修

社会福祉士資格取得

# 実績（2020年4月1日現在）

## (1) 認定社会福祉士登録者数

登録分野	高齢分野	障害分野	児童・家庭	医療	地域社会・多文化	合計
登録者数	356名	132名	61名	275名	128名	952名

多文化SWについては、  
地域社会・多文化分野  
に位置づけられている。

## (2) 研修認証科目数

認証申請分野	認定社会福祉士取得向け科目						地域社会・多文化	認定上級取得向け科目
	共通専門	高齢	障害	児童・家庭	医療			
認証科目数(累計)	82科目	51科目	27科目	32科目	28科目	56科目	4科目	

合計 280科目

## 2. アセスメントシートの開発

### ○生活支援アセスメントシート(領域別シート)

ソーシャルワークの実践現場に従事する社会福祉士が、日常業務の中で、福祉的課題をかかえる外国にルーツを持つ方からの相談に活用できるように「領域別シート(滞日外国人支援)」を開発しています。

→ 本会HPからダウンロードできます

#### ※ 主なアセスメント項目

「国籍・地域」「入国年月日」「入国の目的・経緯」「在留資格・期間・期限」「就労資格」「在留カード」「有効な旅券」「民族・宗教・母語・その他の言語」「日本語運用レベル」「食事」「婚姻関係」「家族関係」「子供の就学状況」「本国での主な職業」「日本における支援者・支援機関」「難民認定の申請状況」「大使館への連絡可否」「帰国の意思・可能性」等

# 領域別シート(滞日外国人支援)

[様式9] 領域別シート②

## 領域別シート② (滞日外国人支援) Assessment sheet for foreigners staying in Japan.

名前 Name	面接者 _____ 通訳の有無 : _____ 有・無 通訳者 _____ 本人との関係: _____		
国籍・地域 Nationality/Region	_____		
入国年月日 Date of Arrival	年	月	日
入国時の目的・経緯 Purpose for entrance and circumstances	_____		
在留資格 Status of residence	_____		
在留期間 Period of stay	_____		
在留期限 Date of expiration	年	月	日
就労資格の有無 Working qualification	有	無	_____
在留カードの有無 Residence card	有	無	_____
有効な旅券(パスポート)の有無 Validity of Passport	有	無	_____
	番号 Number	_____	
	有効期限 Date of expiration	年	月 日
民族 Ethnicity	宗教 Religion	_____	
母語 Original language	その他の言語 & other languages	_____	
日本語運用レベル Level of Japanese Language	_____		
ほとんど話せない・簡単な話なら理解できる・通訳なしでも可 little   Understand a simple talk   Interpreter unnecessary	_____		
食事 Diet	_____		
その他配慮すべき事項 Other matters to be considered	要	不要	_____
婚姻関係 Marital status	はい	いいえ	_____

[様式9] 領域別シート②

## 家族関係・日本在住の親族(父・母・配偶者・子・兄弟姉妹など)および同居者 Family in Japan(Father, Mother, Spouse, Son, Daughter, Brother, Sister and others) and person who lives together

続柄	氏名	生年月日	国籍・地域	同居	在留資格	在留カード番号 特別永住者証明書番号
Relationship	Name	Date of birth	Nationality/Region	Living together	Status of residence	Residence card number Special Permanent Resident Certificate number
				はい・いいえ Yes/No		
				はい・いいえ Yes/No		
				はい・いいえ Yes/No		
				はい・いいえ Yes/No		
				はい・いいえ Yes/No		

子供の就学状況 Enrolment status of children		
氏名 (Name)	就学状況 (School condition)	学校名 (Name of school) / 学年 (Grade)
	はい・いいえ Yes/No	
	はい・いいえ Yes/No	
	はい・いいえ Yes/No	

本国での主な職業  
Occupation at home country \_\_\_\_\_

日本における支援者・支援組織との関りの有無 (Involvement of organization/individual in Japan)			
支援者・支援組織	住所	電話番号	相談者との関係
Supporters/organization	Address	Phone number	Relationship with the client

難民認定申請及び訴訟の有無 Presence or absence of litigation and refugee status	有・無 Yes/No 難民認定申請中( 回目) / 異議申立て中( 回目) Refugee status pending ( ) / Appeals in ( ) 取消訴訟 有・無 Revocation suit Yes/No
---	---

大使館(領事館)への連絡の可否  
Permit to contact the embassy/consulate 可・否  
Permit (Not permit)

帰国について About return to home country

帰国の意志 Do you want to return?	あり	なし	_____
帰国の可能性 Possibility of return	あり	なし	_____



### 3. 調査研究、書籍・ガイドブックの発行

○「滞日外国人支援の実践事例から学ぶ  
多文化ソーシャルワーク」の発行(中央法規、2012)



○(社会福祉士等における外国人支援業務の実情と  
課題に関するアンケート調査)の実施(2018年)



○「滞日外国人支援 基礎力習得のための  
ガイドブック」の発行(2019年)

- ガイドブック(冊子・PDFデータ)を配布
- ガイドブック活用講座を、e-learningで無料配信。



赤い羽根福祉基金

「滞日外国人支援に携わる実務者(社会福祉士)の滞日外国人支援  
基礎力習得のためのガイドブック作成及び研修プログラムの開発事業」